審査・選考（Ⅰ・Ⅱ共通）

審査・選考にあたっては、独創性、実現性を基準として総合的に評価し、本拠点の2023年度運営委員から構成される審査委員会において採否を決定します。選考結果公表前の採否に関するお問い合わせはご遠慮ください。

留意事項

・応募方法は E-mail のみとなります（郵送・持ち込みでは受け付けていません）。期日を過ぎての申請、ならびに規定の様式・データ形式以外での書類提出は受理することができません。また提出後の書類の差替えは認められませんので、ご留意ください。

・採択後、劇場ならびにその他の大学施設の使用について、各種催事・授業等との調整を行います。

・劇場その他の大学施設の使用については、採択後、劇場ならびにその他の大学施設の使用について、各種催事・授業等との調整を行います。

・採択後、当該研究活動における予算執行は、京都芸術大学及び本拠点の定める規定にもとづき行っていただきます。研究遂行に直接必要と認められる支出以外の予算執行はできません。また本研究費で公開研究会等のイベントを有料で開催することはできませんので、ご了承ください。

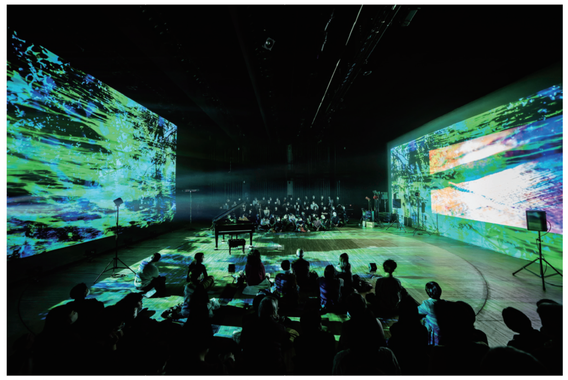
・本研究費で購入した図書、視聴覚資料、機材などは、原則、研究期間が終了した時点で本学の備品となります。なお採択された公募研究プロジェクトの参加者は、共同利用・共同研究拠点の図書、資料等を必要に応じて利用することができます。



研究プロジェクト　型の向こうへ―声のレゾナンス―　撮影：守屋友樹
https://k-pac.org/openlab/485/

2022年度 劇場実験型プロジェクト テーマ研究Ⅰ

老いを巡るダンスドラマトゥルギー
（研究代表者＝中島那奈子）



電子音響詩劇（サウンドオペラ）「石巻（イシノマキ）ハ、ハジメテノ、紙ノ声（カミノコエ）、……」試演　撮影：井上嘉和
https://k-pac.org/openlab/5142/

2020年度 劇場実験型プロジェクト 公募研究Ⅰ（2022年度延期実施）

多層化手法による音楽詩劇の創作と上演
～アクースモニウムを中心とした音楽と映像、言葉の融合～
（研究代表者＝檜垣智也）

研究期間終了後の報告

・採択されたプロジェクトには、研究期間終了後、①研究事業報告会での口頭プレゼンテーション、②アニュアルレポートとして公開する研究報告書の執筆を行っていただきます。

・事業終了後の成果発表については、事前に拠点事務局に申告いただきます。当該研究に関連する取り組み（公演、研究発表、執筆など）を実施する際は、広報物に「京都芸術大学〈舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点〉」のクレジットを表記いただきます。

お問い合わせ

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 舞台芸術研究センター
共同利用・共同研究拠点事務局

〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116
TEL：075-791-9144　E-mail：kyoten@kua.kyoto-art.ac.jp
共同利用・共同研究拠点ウェブサイト：https://k-pac.org/openlab/　京都芸術劇場ウェブサイト：https://k-pac.org/

京都芸術大学 共同利用 共同研究 since 2013

cover photo : Naoko Tamura

研究プロジェクト公募案内

京都芸術大学〈舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点〉

［Ⅰ］ 劇場実験型
募集締切　2023年　8月31日（木）

［Ⅱ］ リサーチ支援型
募集締切　2023年10月31日（火）

京都芸術大学 共同利用 共同研究 since 2013

京都芸術劇場

[Ⅰ] 劇場実験型研究プロジェクト募集

公募対象

舞台芸術（ 演劇、ダンス、伝統芸能、ジャンル横断的なパフォーミング・アーツなど ）に関連する取り組み。京都芸術劇場（ 春秋座・studio21 ）を活用して行われる、以下のいずれかにあてはまる実践的な研究が対象となります。

- **研究者とアーティストの協働による、舞台芸術の作品創作に向けた実験。**
- **研究者を中心とする、劇場を活用した研究プロジェクト。**
- **舞台技術者を中心とする劇場機構の可能性を開発・探究する研究プロジェクト。**

応募資格

以下のいずれかにあてはまる方。

- **大学等研究機関に所属する研究者、アーティスト、舞台技術者（いずれも常勤、非常勤は問いません）。**
- **舞台芸術や周辺ジャンルの創造・制作現場に携わるアーティスト、技術スタッフ、批評家、プロデューサー、コーディネーター、ドラマトゥルクなど。**
- **国内・海外の大学院を修了し、博士の学位を得ているか、またはそれに準ずる研究業績を有する者。**

研究チームの編成

以下を含むかたちで研究チームを編成してください。

- **研究代表者＝研究の中心的役割を担う方。**
- **研究分担者＝共同で研究を行い、研究遂行の責任を分担する方。**
- **研究協力者＝研究遂行のために協力する研究者、アーティスト、舞台技術者など。**

対象となる研究期間

2024 年 4 月 1 日（月）～ 2025 年 3 月 31 日（月）

※複数年度にわたる研究プロジェクトの申請も可能ですが、採択対象は単年度の研究計画となります。

研究予算

1 件あたり年間 250 万円を上限とする。

採択件数

2 件程度を予定



撮影：清水俊洋

春秋座｜大劇場

間口・奥行き

プロセニアム間口 18m≒約 10 間（仮設大臣使用時 8 間）
プロセニアム高さ約 6m30cm（21 尺）～約 7m60cm（24 尺）
舞台奥行き約 17m、スノコ高さ約 16cm

主な附帯設備

廻り盆（直径 45 尺）、大セリ（6 間×7 尺）、小セリ（2 間×4 尺）2台
仮設花道（スッポンセリ 6 尺×3 尺を附設）、仮設鳥屋
バトン 63 本は手引きのみ（積載 300kg）



撮影：清水俊洋

studio21｜小劇場

空間

幅　：約 10m40cm（≒5 間 4 尺余り）
奥行：約 27m50cm（≒15 間余り）
高さ：約 5m45cm（≒3 間）

主な附帯設備・機材

舞台：幕類、平台・馬足・箱馬、ダンス用リノリウム
音響：調整卓・アンプ、デッキ類、マイク・スピーカー類
照明：調整卓、ディマー、機材類
舞台袖・裏、専用楽屋はありません。

[Ⅱ] リサーチ支援型研究プロジェクト募集

公募対象

先進的な発想からなる舞台芸術作品の創作に係る学術研究や実地調査、または劇場実験を将来的に見据えた挑戦的・萌芽的なリサーチ活動。

応募資格

研究者、アーティスト、技術者、制作者などの別を問わず応募できます。
※映像・美術・音楽など、パフォーミング・アーツ以外のジャンルとの横断的な取り組みも対象となります。

対象となる研究期間

2024 年 4 月 1 日（月）～ 2025 年 3 月 31 日（月）

※本カテゴリーにおいて、原則、同一の研究代表者により計画される複数年度にわたるプロジェクトの継続採択は行いません。

研究予算

1 件につき年間 60 万円を上限とする。

採択件数

3 件程度を予定

研究チームの編成

個人または研究チームによる申請、いずれも可能です。編成に関する指定はありません。

応募方法

- 応募申請書は本拠点のウェブサイト（https://k-pac.org/edit_openlab/open-call/）より、ダウンロードしてください。研究代表者として申請できるのは 1 人につき 1 件までです。
- 必要事項を記入の上、E-mail にて共同利用・共同研究拠点事務局（kyoten@kua.kyoto-art.ac.jp）宛に情報・添付書類を提出してください。

件名　：2024 年度「＊＊＊＊型」応募
※「＊＊＊＊」には応募されるカテゴリー（劇場実験型／リサーチ支援型）を記入してください。
本文　：研究課題名、代表者名、連絡先を明記してください。
添付　：2024 年度 公募申請書（PDF 形式）

※選考結果は、「劇場実験型＝2023 年 11 月末日」／「リサーチ支援型＝2024 年 1 月末日」までに、採否いずれの場合も、応募者宛にメールにて通知します。
※応募メールを受信後、3 日程度で受領確認の返信をします。返信が届かない場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせください。
※「劇場実験型」公募研究は採択後、研究活動の開始前に、劇場の使用方法および使用スケジュールについて、事前打合せの機会を設けます。

公募期間

劇場実験型　：2023 年 6 月 12 日（月）～　8 月 31 日（木）　※23:59 まで（必着）
リサーチ支援型：2023 年 8 月　1 日（火）～ 10 月 31 日（火）　※23:59 まで（必着）

応募の際は、以下のサイトに掲載される募集事項を必ずご確認ください。
共同利用・共同研究拠点ウェブサイト
https://k-pac.org/edit_openlab/open-call/